

○ 中間のまとめに使用している用語について

中間のまとめに使用している用語の言い換え等に関する事務局の考え方は、次のとおりです。なお、わかりやすさの観点から「用語解説」を設けるなどの対応は検討します。

用語	意味	言い換え
メリット	功績。長所。利点など	「 <u>長所</u> 」と言い換えます。
マネジメント	人・物・金・時間などの使用法を最善にし、うまく物事を運営すること。企業の経営管理。	「 <u>運用・管理</u> 」と言い換えます。
民間活力	大規模プロジェクトを実施する際、政府・自治体に代わって民間部門の資本や経営によってそれを行うこと。	行政の中だけでなく、社会一般にも使用している例が多いと考えます。適切な言い換えができないため、そのまま使用します。
官民連携	PPP (Public Private Partnership) の和訳。公共サービスの提供に何らかの形で民間が参画し、官と民がそれぞれお互いの強みを生かし、最適な公共サービスの提供を実現していくための手法の一つ。	行政の中だけでなく、社会一般にも使用している例が多いと考えます。適切な言い換えができないため、そのまま使用します。
デジタルガバメント	国の実行計画によれば、デジタル・ガバメントの実現は、単に情報システムを構築する、手続をオンライン化する、手続コストを削減するという意味するものではなく、利用者中心の行政サービス改革を徹底し、利用者から見て一連のサービス全体が、「すぐ使えて」、「簡単で」、「便利」な行政サービスの実現を目指すものとされる。デジタル技術を徹底的に活用し、行政のあらゆるサービスが、利用者にとって最初から最後までデジタルで完結する社会を目指す中での自治体のあり方を表している。	「電子自治体」と言い換えられる例もありますが、「デジタル＝電子」とはいえず、特定の意味を持つ用語であることから、そのまま使用します。
ワンストップ化	ワン・ストップ・サービス (one stop service) は、一つの場所で様々なサービスが受けられる環境、場所のことをいい、そのような環境、場所に変えていくことを表す造語。	適切な言い換えができないため、そのまま使用します。
デジタル化	数値、文字、音声、画像などのアナログ (連続的な量) の物理的情報を、主にコンピュータを用いて処理しやすい形式 (デジタル (離散的)) に変換すること。	「電子化」と言い換えられる例もありますが、「デジタル＝電子」とはいえないため、そのまま使用します。

双方向コミュニケーション	「コミュニケーション」は、気持ち、意見などを言葉などを通じて相手に伝えること。通じ合い。区と区民が一方通行でなく、双方向でつながることを意識した造語。	「 <u>双方向のコミュニケーション</u> 」とします。
コミュニティ	一定の地域に居住するなどし、共同体意識を持つ人々の集団。地域社会。	一般的に使用される例が多いと考えますので、そのまま使用します。
地域主体	町会・自治会、PTA、住区住民会議、商店街、NPO など、地域の中で様々な活動を行う団体のこと。	「 <u>地域活動団体</u> 」と言い換えます。
産業価値	区の産業振興においては、区の産業的特徴を活かしながら、新しい価値・新しい魅力を創出しようとする事業者を後押しすることとしており、そうした取組により生み出された価値・魅力のこと。	適切な言い換えができないため、そのまま使用します。
地域資源	区の産業振興ビジョンでは、「自然や歴史、文化など地域資源」と説明している。	適切な言い換えができないため、そのまま使用します。
観光資源	区の観光ビジョンでは、「地域の歴史や文化、産業、自然などさまざまな観光資源」と説明している。	適切な言い換えができないため、そのまま使用します。
ライフステージ	人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などのそれぞれの段階のこと。家族という視点からは、新婚期・育児期・教育期・子独立期・老夫婦期などにも分けられる。年齢等に伴って変化する生活段階。	行政の中だけでなく、社会一般にも使用している例が多いと考えます。適切な言い換えができないため、そのまま使用します。
地域医療体制	身近な地域で誰もが安心して医療を受けられる地域の医療提供体制のこと。	「 <u>地域の医療提供体制</u> 」と言い換えます。
狭あいな道路	狭あい（せまい）な道路のことで、道路幅員4mに満たない道路を「狭あい道路」とし、拡幅整備事業の対象としている。	特定の意味を持つ用語であるため、そのまま「狭あい道路」を使用します。
雨水流出抑制	区では、総合治水対策の一環として流域全体の治水安全度を向上させるため、公共施設等において雨水流出抑制施設（浸透ます・浸透トレンチ）や雨水タンクの整備の促進などを行っており、これらの取組を表すもの。	特定の意味を持つ用語であるため、そのまま「雨水流出抑制」を使用します。
景観資源	区の景観計画によれば、区内の公園周辺や歴史資源周辺、区の顔とも	適切な言い換えができないため、そのまま使用しま

	いえる地域などを「景観資源」といつている。	す。
住宅確保要配慮者	制度によって具体的な対象者は異なるが、一般に低額所得者、高齢者、障害者、母子家庭その他の住宅の確保に特に配慮を要する者のこと。	「住宅の確保に特に配慮を要する者」と言い換えま す。
交通バリアフリー	駅などの旅客施設、道路や公園などの公共施設、高齢者・障害者等が 利用する公共性の高い建築物などのバリアフリー化を推進する計画の 名称として使用されている。	適切な言い換えができないため、そのまま使用しま す。
生物多様性	区の生物多様性地域戦略では、「生物多様性」とは、様々な自然があり、 そこに特有の個性を持ついきものがいて、それぞれの命がつながりあ っていることをいうとしている。	行政の中だけでなく、社会一般にも使用している例 が多いと考えます。適切な言い換えができないため、 そのまま使用します。
再生可能エネルギー	石油や石炭、天然ガスといった有限な資源である化石エネルギーと異 なり、太陽光や風力、地熱、バイオマスといった地球資源の一部など 自然界に常に存在するエネルギーのこと。国際的には、「太陽・地球物 理学的・生物学的な源に由来し、自然界によって利用する以上の速度 で補充されるエネルギー全般」と定義される。	行政の中だけでなく、社会一般にも使用している例 が多いと考えます。適切な言い換えができないため、 そのまま使用します。
環境行動	区の環境計画では、環境にやさしいまちをつくるためには、環境保全 の大切さや環境問題の現状を知り、日常生活や事業活動において環境 に配慮した行動を身につけ、定着させることが重要としており、こう した活動を総称するもの。	「環境に配慮した行動」とします。
省資源	製品の過剰な生産・消費を抑制し、再利用などによって資源の効率的 な利用を図ること。	一般的に使用される例が多いと考えますので、その まま使用します。
食品ロス	食料ロス、フードロスともいい、売れ残りや食べ残し、期限切れ食品 など、本来は食べることができたはずの食品が廃棄されること。	行政の中だけでなく、社会一般にも使用している例 が多いと考えます。適切な言い換えができないため、 そのまま使用します。
チーム学校	文部科学省では、「チームとしての学校」像として、校長のリーダーシ ップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が一体的に管 理・運用され、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を 生かして能力を発揮し、子供たちに必要な資質・能力を確実に身に付	特定の意味を持つ用語であり、適切な言い換えがで きないため、そのまま使用します。

	けさせることができる学校を掲げている。	
インクルーシブ教育システム	障害者の権利に関する条約第 24 条によれば、「インクルーシブ教育システム」とは、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が教育制度一般から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされている。	特定の意味を持つ用語であり、適切な言い換えができないため、そのまま使用します。